

奈良地方最低賃金審議会
奈良県最低賃金専門部会
第4回 議事要旨

開催日時	令和7年8月7日（木曜日） 午前9時57分～午後12時09分		
出席状況	公益を代表する委員	出席 3名	定数 3名
	労働者を代表する委員	出席 3名	定数 3名
	使用者を代表する委員	出席 3名	定数 3名
主要議題	1 奈良県最低賃金の審議（金額審議）について 2 その他		
議事要旨	<p>公益委員と労働者側委員、公益委員と使用者側委員の個別審議が行われた。</p> <p>○ 労働者側委員の主張内容</p> <ul style="list-style-type: none">・今年は、他府県は目安額+1円が水準だと認識しており、地域間額差是正のためには、少なくともそれ以上の引上げが必要であると考えている。・全会一致による改正額の合意が重要であるとの思いは共有している。全会一致を目指す場合は、付帯決議として一昨年度の内容に県外就職率の改善に向けて県にも働きかけるような項目を付け加えていただきたい。・目安上乗せの交付金が検討されているとのことであるので、それも踏まえて使用者側委員に検討願いたい。・発効日の後ろ倒しについて具体的な考えはないが、金額の上積みにつながるのであれば検討の余地はある。 <p>○ 使用者側委員の主張内容</p> <ul style="list-style-type: none">・Bランク内で相対的に奈良の経済情勢は悪いという認識に変わりはない。・目安マイナスが妥当であるとの認識であるが、目安どおりならば合意可能と考える。・仮に発効日を1/1など、大きく遅らすことができるのであれば、年収の壁対策にもなり得る。目安+1円の合意も検討に値する。		
引き続き第5回専門部会（8月8日）で審議することとなった。			